

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ葛飾金町ルーム			
○保護者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 7月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 7月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の質と担当制による一貫性	指導員とのマンツーマンによる個別療育を提供しており、担当制を基本とすることで、こどもとの信頼関係が築かれやすく、保護者も相談しやすい体制が整っている。 今年度の保護者評価でも、特性への理解・柔軟な対応・安心感につながる関わりが高く評価された。	外部研修や事業所間連携を継続し、担当者間での知識共有を強化することで、療育の質向上を図る。
2	個別療育と小集団療育の柔軟な組み合わせ	個別と小集団の2コースを設けており、こどもの状況や保護者の希望に応じて柔軟に組み合わせた支援が可能。 今年度も、こどもの気分のムラや特性に応じた柔軟な対応が評価されている。	引き続き、利用状況や成長段階に応じた最適なコース提案を行い、支援の幅を広げる。
3	全国展開による豊富な知識・ケース検討体制	全国展開の強みを活かし、ケース検討の蓄積が多く、臨床心理士・公認心理師との連携体制も整っている。 毎週のケース検討や運営改善の話し合いが継続的に行われている。	事業所間連携をさらに強化し、多角的な視点で支援の質向上を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育スペースが完全個室ではない	OAパーテーションを使用しているため、音の聞こえやすさや転倒リスクが課題。 今年度の保護者評価でも、環境面の改善は今後の期待点として受け止めている。	転倒リスクの少ないパーテーション導入やレイアウト見直しを検討する。
2	送迎サービスを提供していない	保護者の送迎が必須であり、体調不良等で送迎できない場合は利用が困難となる。	送迎を行っていない点を丁寧に説明しつつ、より多くの方が利用しやすいよう、支援の質向上に努める。
3	1回あたりのサービス提供時間が短い	フィードバックや身支度を含め1時間のため、実質の療育時間が35～45分程度となる。	提供時間の制約を踏まえつつ、内容の密度を高める工夫を継続する。